

# 正念寺だより

2013年  
7月10日 発行  
行NO.163

## お盆法要・戦没者追悼会

とき 八月十五日（木）

九時～

読経 『仏説阿弥陀経』

焼香

法話 当山 住職

※ 初盆をお迎えの方は

ご家族では是非ご参詣下さい。

懇志をお願い致します。

お念珠をお持ち下さい。



## 九月 聞法会

とき 九月二十日（火）

二時～

法話 近藤 正嗣 師

真宗仏光寺派布教使

東京・照明寺副住職

※ 読経の練習と法話のつどい

参加費 五〇〇円

## 報恩講法要

とき 十月九日（水）二時・七時



## 住職閑話

インターネットで「生まれてきてからの日数」が簡単にわかります。

十歳なら約三、六五〇日。三十歳なら約一〇、九五〇日。八十歳なら約二九、二〇〇日となります。私は今月の誕生日で一九、七二四日生きたことになりました。

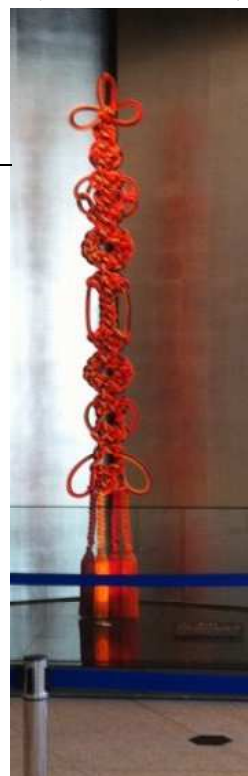
若くして亡くなると、「志半ばで、さぞ無念であったでしょう」とお悔やみの言葉を聞きます。この言葉の裏には「長生きすれば、志が全うする」という思いがあります。

逆に「年をとると人間まるくなくなってしまうが、頑固で片意地になると思っていたが、頑固で片意地になると思っていた人多い」とも聞きます。

私が何万日生きようが、私の人生が完成の域に達するか？とてもそんなことはあり得ません。人生は本来未完成のまま終わりを迎えるものなのでしょう。

仏教では昔から人生を一枚の布にたとえます。そして私が生きた日数を横の糸の本数だとすると、横糸は色もまばらで、張り合いも様々、喜怒哀楽入り交じった横糸です。しかもその横糸を何本並べても布にはなりません。しっかりとした縦糸がいます。

インドの言葉で縦糸のことをスートラ＝修多羅といいます。人生の方向や生きる意味を見い出せずにもがいている私に寄り添い、方向を与えて下さる「教え」により人生が一枚



スカイツリーの12のコンセプトの一つ

## 恒例の近江米新米・キヌヒカリ 産地直送販売会

- とき：9月29日（日） 3時～5時
- 会場：協和産商株式会社 東住吉区今川8-1-14
- 価格：
 

5kg	2,100円
10kg	4,200円
20kg	8,400円
30kg	12,600円

※玄米をご希望の方は、お申し出下さい。  
 配達は1軒300円です。  
 締め切りは、9月15日  
 今年も9月の注文の量次第で、  
 年内に第二弾の販売会を予定します。



の布として完成します。お釈迦様の教えに「お経をスートラといいます。昔、僧侶はお釈迦様の教えを板に書いて糸を通して持ち歩いたそうです。今日葬儀で付ける七条袈裟の背におう「修多羅（しゆたら）」という組紐の原型です。

右の写真は東京スカイツリーの4階チケットカウンター付近に展示された修多羅です。→